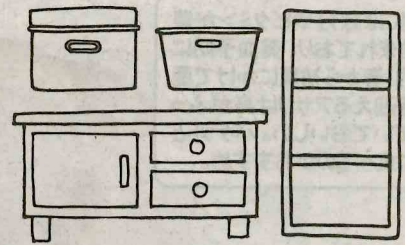


時短収納術

収納を見直し 暮らしを快適に



つい買い過ぎてしまい、家の中がモノであふれかえっていませんか？ 収納を見直すことで、探し物が減ったり、家事がサクサクすすんだり、日々の暮らしを快適にすることができます。

教えてくれたのは

時短家事コーディネーター@Basic認定講師、整理収納アドバイザー
坂下 さちこさん

自身の経験を基に楽しくなる家事・楽になる家事を提案中！4月からNHKカルチャー広島教室にて時短家事セミナーを開催予定。(詳細は同教室まで)



ブログ
<https://ameblo.jp/kajijuku-sachiko/>
Instagram
<https://www.instagram.com/sachikosakaniko/>

収納するとき
意識するポイント
モノの定位置を決める
部屋が散らかる原因はモノの片付け先がわからず放置されているからです。そのため、モノの定位置を決め、片付け先をつくってあげることで部屋

「整理」とは「分ける」ことを意味します。そのため、まず始めに行う手順として、捨てるモノを探索作業ではなく、自分の「大切なモノ」「持ち続けたいモノ」を選び抜きます。迷うモノは「保留箱」などにまとめておき、数カ月後、半年後に見直してみようというように。選び抜いた後に残ったモノをどうやって収納していくか考えていきま

ラベルを貼って
家族で共有
食料品や日用品などを収納している場所にラベルを貼っておくことで、自分だけでなく家族も、どこに何があるのか一目で把握できます。収納の

「一軍は手が届きやすい場所へ」
使用頻度の高いモノは手が届きやすく、出し入れしやすい場所に収納しましょう。使用頻度の低いモノと、一緒にせず、分けて別の場所に収納しておくことで、使いたいモノをすぐに探すことができます。時短につながります。

中身を把握しておくことは、モノを探す時間を節約でき、片付けもしやすくなります。
収納は試行錯誤を繰り返す
収納を一度に見直そうとして、すべてを一度にやり直す必要はありません。少しずつ見直すことで、「次はあそこを片付けたい」といった、日々を快適に過ごすためのヒントが見えてくるはずです。

モノを増やさないために
心かけること
モノを増やさないためには、以下のことを意識してモノを買うようにしましょう。
・衝動買いをせず、厳選してモノを買う。
・「100専用」ではなく、多岐にわたって使えるモノを選ぶ。

「モノの数＝幸せ・豊か」の時代は終わりました。また、「モノを捨てる」時代も今の物価高騰や資源不足の現状から見ると、終わりが見えてきています。今は「厳選したモノを使い果たす」時代が到来しています。
SDGsに取り組んでいくにあたって、これからの私たちは、きちんと最後まで使い果たす義務感をもってモノと向き合わなければなりません。容易にモノを増やさないようにし、手放す際にも選び抜いて使い切ったモノなら迷わず手放せるようになるでしょう。

坂下さん家が実践する収納術を大公開！

リビング LIVING

マイロッカーをつくる！

リビングには個人の私物（メガネ・腕時計・郵便物・読みかけの本など）が散らかりがち。そこで、個人用の収納スペースを確保し、自分のモノはそこに収納するよう徹底する。片付け先ができることで、モノの置きっぱなしやイライラを減らすことができる。



扉を閉めればリビングがすっきり！

コードは1カ所にまとめる！

散らかりやすいコードはファイルボックスなどにまとめておくことで、すっきりきれいに。コードをなくす心配もなくなる。



ボックスの穴からコンセントにつないで、携帯電話の充電ステーションとして活用！ごちゃごちゃになりやすい充電ケーブルも、充電場所を決めておくことで部屋の中がすっきり解決！

家事の時短アイデア リビング編

掃除道具はすぐそばに！

掃除する場所のすぐそばにハンディモップなどを置いておくことで掃除がしやすくなる。毎日の掃除を徹底すると、ほこりもたまらない！目につかない場所に収納することで見た目もすっきり。



テレビの後ろにハンディモップを収納▶

お風呂場 BATHROOM

「銭湯方式」で毎日の掃除を簡単に！

シャンプー、ボディソープなどは浴室に置かず、洗面所で保管する。各自シャンプーやボディソープが入ったケースを浴室に持って入る「銭湯方式」を採用。浴室にぬれたボトルが置きっぱなしにならないため、浴室は掃除しやすく、ボトルに水垢やカビがつきにくい。

入浴後は珪藻土マットの上にケースとボトルを置いて乾かしてからしまう。



▲家族それぞれのケースを用意



▲底に穴が空いているケースならなおよし！

家事の時短アイデア お風呂場編

ヘアドライ手袋や水切りワイパーなどでカビ知らず！

浴室の水気を切り、カビの繁殖を防ぐ。水気を切るには100円ショップなどで手に入るヘアドライ手袋がおすすめ！細かい場所の水切りも簡単で、汚れも落とせる！

なでだけで水切りできる！

